

## 令和 2 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

### ●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,560,685円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

### ●利用状況

		R02上半期	R01下半期	R01上半期	H30下半期	H30上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	1,692	8,231	11,245	10,317	11,707
	移動児童館利用者数	0	908	1,065	919	860
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	0	16	※20(17)	※21(19)	※16(13)
	開館日数(単位:日)	101	126	155	151	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

### ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①新型コロナウイルス感染対策の為に休館した。(3月2日～6月1日) ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員3人の合計5人配置(資格について=保育資格2人、教諭資格2人、児童厚生員資格4人=重複資格者あり) ③上半期は、新型コロナウイルス感染対策の為に、児童館の行事や登録制幼児クラブを中止したり、休館をする際には、本部秘書広報課によりホームページによって利用者に周知した。 児童センターのお知らせ「はみんぐ」の内容は、感染防止の3つの基本(3密を避ける・マスクの着用・手指消毒)や、児童センターの利用方法(利用時間、利用定員など)をわかりやすい言葉で伝え、ホームページに掲載した。また、玄関や幼児室など児童センター内に掲示した。 上半期は、コロナウイルス感染防止の為に、母親クラブの活動が出来なかったため、ホームページに掲載することで、母親クラブの役員の意識が上がった。 ④常時、玄関口のわかりやすい場所に意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、素早い問題の解決に努めた。 また、来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。 アンケート結果は児童センターの廊下に掲示した。 ⑤計画どおり実施した。

自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施 ②新型コロナウイルス感染防止の為、今まで以上に清掃を遂行した。3密にならないように、各部屋の利用人数を少なくし利用時間を1時間に制限し、その都度換気をした。玩具については、数を少なくして、ひとつずつ写真に撮り、カードにした。利用者は遊びたい玩具のカードを職員に見せ、貸し出しを行った。使った玩具を消毒することで、感染対策に努める。(1時間内で3回玩具を変えることができる) ・週2回は、就労促進事業清掃班による清掃有り。 ・病虫害等防除マニュアルを作成し、適切な防除法として草取りや落ち葉を掃くことで、風通しや日当たりを良くして環境整備を含め、発生源対策を行った。 ③普段から省エネ(使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電)に努め、牛乳パックなどの廃材を利用して工作をすることで経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検 年2回(室内の平均台などの点検や戸外の鉄棒などの安全維持管理)実施。玩具の破損は、おもちゃ病院ぎふに修理依頼。少しの施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理を行い、随時巡回点検し異常箇所の有無確認。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施、または、本部、総務課に修繕依頼。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施した。また、法人内の研修(現在は、オンライン研修)に参加し、全職員で伝達講習を行い、職員の認識強化を図った。(個別研修を実施) ヒヤリハット記入を強化し、気づいたことをヒヤリハット報告書に記入し、全職員が周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。 加納西小学校校区子ども安全マップ(子ども110番の家)の設置状況一覧表を廊下に掲示した。 毎月、避難訓練を実施した。5月に法人内において監査指導を受け、ロッカーなどの危険な箇所の見直し(家具転倒防止伸縮棒設置)を行った。また、書類等の再確認を行った。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和2年7月10日～9月19日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数28人 【小・中・高校生用アンケート】 令和2年7月24日～9月15日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者62人(小学:1年3人、2年2人、3年8人、4年16人、5年6人、6年19人、 中学:1年1人、2年6人、3年1人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt; 【校区】加納西(9人) 三里(6人) 茜部(3人) 華陽(2人) 加納(1人) 市橋(1人) 木之本(1人) 長良(1人) 徹明(1人) 本荘(1人) 西郷(1人) 市外(1人) 【年齢】10代(0%) 20代(18%) 30代(74%) 40代(8%) 50代以上(0%) 【利用頻度】初めて(0%) ほぼ毎日(4%) 週2～3回(8%) 週1回(14%) 2週間に1回(4%) 月1回(43%) その他(27%) 【来館相手】子(96%) 孫(0%) 友人(4%) その他(0%) 【子・孫の年齢】0才(21%) 1才(21%) 2才(21%) 3才以上(37%) 【来館方法】徒歩(22%) 自転車(11%) 自家用車(67%) 公共交通機関(0%) その他(0%) 【何で知った】ホームページ(43%) 広報紙・チラシ(7%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(18%) ぎふし子育て応援アプリ(14%) ソーシャルメディア(0%) その他(18%) 【評価】 (あいさつ)……満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすい)……満足(75%)、ほぼ満足(18%)、普通(7%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(93%)、ほぼ満足(7%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(89%)、ほぼ満足(11%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気)……満足(89%)、ほぼ満足(11%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt; 【学校名】加納西小(41人) 三里小(8人) 陽南中(6人) 鶯谷中(2人) 茜部小(2人) 岐阜大学教育学部附属小(2人) 加納小(1人) 【学年】小学:1年(5%)、2年(3%)、3年(13%)、4年(25%)、5年(10%)、6年(30%) 中学:1年(2%)、2年(10%)、3年(2%) 【利用頻度】初めて(10%)、毎日(2%)、週4・5回(5%)、週2・3回(14%)、週1回(24%)、 その他(45%) 【来館相手】ひとり(10%)、友人(68%)、兄弟姉妹(11%)、父母(11%)、祖父母(0%)、 親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】徒歩(45%)、自転車(47%)、自家用車(8%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】ドッジボール(35%)、卓球(16%)、カードゲーム(16%)、カラム(9%)、 オセロ(6%)、けん玉(3%)、その他(15%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 &lt;保護者&gt; ・クラブがやっている良かった。コロナで仕方ないが、子ども同士の交流が少ないので、子どもの発達にも影響がありそうだと感じる。 ⇒令和2年10月から「申し込み制の幼児クラブ」を行う予定である。感染予防の為、時間は30分ではあるが、子どものいい刺激になり、お母さん達の交流ができる(定員は5組または10組) ・もう少しおもちゃの種類を増やしてもらえると嬉しい。 ⇒毎日、幼児の玩具を消毒している。その為、消毒のできない玩具は片付けているが、定期的に入れ替えているのでご理解ください。 ・幼児室の区切りがもう少し子どもにわかりやすいと良いです。 ⇒3密を避けるための区切りの目安ですので、皆さんのできる範囲でご協力をお願いします。 ・今まで当たり前のように遊んでいた事が全て難しくなり、きっと先生方も困って見えるのだらうなと思います。でも、どんな形であれ児童センターが、子ども達の大事な遊び場にかわりがないので、これからもよろしくお願いします。 ⇒嬉しいお声を頂きました。子ども達の遊び場として、これからも見守ってください。 ・部屋でかかっている音楽を手遊びの音楽にして欲しいという希望にも、すぐに対応して下さりありがたかったです。お忙しいところ、ありがとうございます。 ⇒職員は、日々、利用者の方が楽しく遊んで頂けるように考えています。いつでも、声を掛けてください。出来ることはさせていただきます。 ・水道の蛇口が届かないので使いにくい。 ⇒現在、本部や岐阜市に改善をして頂くように要望を出しています。</p> <p>&lt;児童&gt; ・本・ドミノ・おもちゃを増やしてほしい。 ⇒新型コロナウイルス感染防止の為、毎日、本や玩具の消毒を行っています。その為、ドミノなどの数を少なくしています。また、対面で遊ぶ玩具は飛沫感染予防の為、片付けてあります。現在、遊べる玩具が少ないですが、この期間中は、ご協力をお願いします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①全体について ○新型コロナウイルス感染防止の為、3月2日(月)～6月1日(月)までの間の休館を利用して館内の見直しをした。 ・遊戯室の倉庫整理、図書学習室や職員室の棚の整理整頓をした。 ・玩具の見直しをした⇒感染防止の為、玩具を少なくし、利用者に安全で消毒に適しているかを確認した。 ・部屋の見直しをした⇒幼児室は親子で4組、図書学習室は12人まで椅子を減らし、3密防止を徹底した。 ・遊戯室、職員室、図書学習室、玄関、下駄箱の柱や壁にペンキを塗った⇒館全体が明るくなった。 ・老朽化の為、柱の所にトゲが出来ていた所は紙やすりで削りペンキを塗った⇒安全面にも効果があった。 ・6月からは、非接触検温・手指消毒・手洗い・うがい・入館カードに体温、来館時間を記入してもらっている。 ⇒新型コロナウイルス感染防止策の加納児童センタールールを職員同士で話合って決めた。 ・自然災害が多い中、ハザードマップ(岐阜市地震学習情報)を新たに作成した。 ・母親クラブの会長と相談して、サークル活動が出来ない今だからこそ、児童センターのホームページに「母親クラブのおたより」を発信して、お気に入りの絵本を紹介したり、サークル活動の報告をして母親クラブのメンバーに元気を届けた。</p> <p>②子育て支援事業 ○「お母さんの為の工作」は、昨年、好評価を得たので、今期も計画を立てたが、コロナウイルスにより行うことが出来なかった。今後、様子を見ながら実施したい。 ○移動児童館も依頼を受けたが、やはりコロナウイルス感染により中止になった。 ○8月・9月の利用者に、その場で出来る簡単工作(自由参加)を取り入れた。利用時間1時間内で出来るようにして、持ち帰りもOKにしたことで、初めて児童センターに来た親子連れの方も喜んでた。幼児は、マラカス、アンパンマンの手提げバッグ、びよんびよんカエル、くるくるコマなど簡単に作れる工作にした。児童は、下敷き作りやプラ板キーホルダー作りをしたことでおもちゃが少ないというアンケートがある中、喜んで持ち帰る姿があった。 ○0歳児で初めて来館した親子連れが多く、職員が、友達作りの悩みを聞いた。こんな時期だからこそ、児童センターの役割は大きいと実感した。今後、お母さんの達の友達作りの居場所になるように繋げていくためには、今、何が必要なかを職員同士で話合っていくようにした。 ○休館中は、幼児クラブや学童行事の為の工作準備に取り組んだ。</p> <p>③児童健全育成事業 ○毎月第2・4土曜日の午後、小学生と中学生を対象に、「ワクワクスクール」を新しく実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になっていた為、様子を見ながら下半期に入りたい。昨年まで、小学校の臨時教員をされた方がボランティアで行事を担当するよいです。内容は、数独やナンプレの遊びなど興味のあるものやっていたい。 ○加納西小学校校区安全マップを廊下に掲示して、子ども110番の表を貼りだした。(不審者の話を聞かた)児童が自分の身は自分で守り、安全で楽しい生活を送れるように避難訓練の時に話をしていく。又、職員は日常的に、このことを意識するように努める。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○駐車場に関して、毎回、車が止めにくい、駐車場が少ないので多くしてほしいとの要望が多くある為、加納ふれあいバスの時刻表を掲示したり、職員がPRする事で、少しでも駐車場問題が改善するように、上半期は取り組む予定だったが、加納校区の役員の方と相談した結果、『加納めぐりバス』の児童センターに近いバス停に『加納児童センター』の名前を新しく追加して頂くことが決まった。今後、幼児クラブに参加する親子さんにPRし駐車場問題の解消の糸口になるように期待する。 (現在はコロナウイルス感染を心配して、乗車しない方がいる) ○上半期は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、児童の行事や、登録制の幼児クラブが出来なかった。9月までは、すべての行事を中止していた為、幼児クラブの問い合わせが多数あった。下半期は3密を避けて参加人数を、5組または10組にすることで間隔を開け、時間を30分と短くした幼児クラブを開始する。登録制ではなく毎回受付をした方のみ(参加人数が満たない場合は当日もOK)が参加できる方法で取り組む。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○新しく実施する行事を考えたが、コロナウイルスの為に中止になってしまった。行事や幼児クラブが中止になった為、職員で再度、地域の中での児童館のあり方やコロナウイルス感染対策の消毒の仕方を学んだ。 ○4月から、毎月第2・4土曜日の午後、小学生と中学生を対象に、「ワクワクスクール」を新しく実施する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった為、今後、後半に入りたい。(昨年まで、小学校の臨時教員をされた方がボランティアで児童に係わってもらい、数独やナンプレの遊びを通じて子ども達が興味を示すまでゆっくり企画し取り組む) ○加納児童センターは、今まで、地域の高齢者の方などにボランティア先生として行事の指導に当たってもらっていたが、この上半期は、新型コロナウイルス感染リスクの高く、高齢者のボランティア先生をお呼びすることなく「元気に長生きの生きがい」の番をなくしていた。地域の皆様が安心安全で元気で長生きして頂く為の対策であり、今後の取り組みの課題である。 ○12月中旬に県主催の「令和2年度ぎふ木育教室」を実施予定(ぎふ木育の取組の一環として「ぎふの木育教材導入支援事業」に募集)…ぎふ木遊館からの講師の指導で加納児童センターの施設で木育教室を行う。 ○上半期は、児童館ガイドラインを見直すことが出来なかった為、職員同士で「子どもが〇〇をできるようにする」という、子どもの主体性の重要性にポイントを置き、下半期は取り組む。</p>

●所管課の意見

<p>○新型コロナウイルス感染症対策を策定したマニュアルにそって適正に消毒・換気等を行った。 ○コミュニティバスのバス停名称が「加納神明町・児童センター」に変更していただいたことにより、施設のPRやバスでの来館者増加につながった。 ○職員間で研修を7回行っている。中でも、指定管理者の母体である医療機関の特性を生かした感染拡大防止対策に複数回取り組み、職員の資質向上につながっている。 ○母親クラブの情報をホームページに開設し、利用者間同士の交流の場を提供している。 ○来館者に対し、簡単工作を取り入れ、持ち帰りもできることにしたことで、利用者が喜ぶ企画を行った。 ○事故等の発生も無く、安全安心な施設運営に努めたことは評価したい。 ○職員体制や運営状況については問題なく行われている。</p>
---

### ●指定管理者評価委員会の意見

バス停の名前を変え施設のPRに繋げたことを評価する。

子どもだけでなく、地域の方の交流する場として定着していることを評価する。

今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、岐阜市総合対策等マニュアルに従いつつ、児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情緒を豊かにすることを目的とする児童館として、利用者の安心・安全を考慮した運営を願いたい。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。